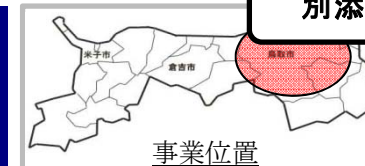


平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 鳥取市生活交通会議 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



鳥取市の概要

- ・平成16年11月に1市8町が合併
- ・人口 197,449人(平成22年度国勢調査)
- ・面積 765.66km²

鳥取市生活交通会議の構成員

学識経験者、住民代表、事業者、事業者団体、事業者労働組合、鳥取市、鳥取運輸支局、警察署、道路管理者

概要

鳥取市における主要な公共交通機関であるバス交通は、特に高齢者や児童生徒などマイカーを利用出来ない人にとって、日常生活を営む上で必要不可欠な移動手段であり、地域生活を支える根幹的な基盤である。

今後、さらなる人口減少・高齢化が進むと予想され、また地球環境問題への取組みが要請される中、地域生活の持続的発展のためには健全な地域公共交通が求められる。

米里線・浜村青谷線は、沿線住民が最寄りの主要幹線へアクセスし、広域移動するための重要な路線である。このため、地域公共交通確保維持改善事業により米里線・浜村青谷線を確保維持することで、両地区における住民の生活交通を存続させる。

協議会の主な取り組み

- ・役割に応じたバス路線の配置
- ・主要な目的地へのバス路線の配置
- ・NPO法人等による過疎地有償運送の導入支援・促進
- ・タクシーの活用(タクシー利用助成など)
- ・既存の経路案内システムの設置拡大
- ・公共交通マップの作成
- ・車両ラッピング・愛称募集
- ・福祉タクシーの導入

協議会における検討

鳥取市生活交通会議 年5回程度開催

(本事業に係るものは下記)

平成25年11月25日

・第2次鳥取市地域公共交通総合連携計画の策定について

平成26年2月5日

・平成26年度生活交通ネットワーク計画の変更について

平成26年6月27日

・生活交通ネットワーク計画について(平成27～29年度)

平成27年1月9日

・平成26年度事業評価について

平成27年6月25日

・生活交通確保維持改善計画について(平成28～30年度)

鳥取市生活交通会議 事業の評価

定量的な目標・効果

路線不定期運行(予約型)3系統

(目標)

本乗合タクシー導入地域の人口減少率は4.5%であり、少子化の影響等によりその状況は加速するものと想定されるため、目標値は乗合タクシーの利用者数を現状維持とする。

1,986人/年 ※目標値は、平成24年度(H23.10-H24.9)米里線・浜村青谷線の利用実績の合計値

(効果)

フィーダー系統と幹線交通との接続により、地域住民の広域移動を可能とする交通手段となっている。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

・住民要望の把握に努め、ダイヤ改正やルート改善等のサービスの見直しを行った。また、地域と協働で利用促進活動を推進した。

実施した利用促進策

- ・毎月の日別・便別の利用者数を把握
- ・幹線バスとの接続に係るダイヤ改正
- ・地域との意見交換等を通じた運行内容等の改善・検討

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

・利用者ニーズに合った地域公共交通の確保・維持により、利用実績の向上等を図り、より持続可能な交通ネットワークの構築に努めた。

地域住民の意見の反映

- ・地域住民が参加する地域審議会の議題として乗合タクシー運行の協議を行うとともに、運行形態改善に向けた協議を実施した。
- ・法定協議会の構成員には鳥取市の各地域の自治連合会及び老人クラブ連合会の代表など住民代表を委嘱し、計画事業の評価や次年度事業の展開方法などについて意見を聞く組織形態としていることから、住民の意見が反映される仕組みとなっている。

事業実施の適切性

- ・計画どおり実施されている。
- ・本乗合タクシーの運行は、地域の需要に見合った車両サイズで、一定のサービス水準を維持している。さらに、デマンド運行とすることにより費用の大幅な削減が可能となり、持続可能な運行形態で地域生活交通を確保している。

目標・効果達成状況

(目標)

平成27年度の利用者数は1,957人であった。これは目標1,986人と比較して98.5%となっている。
路線バスが廃止された平成23年度の1,442人と比較すると、本乗合タクシーの運行は135%の増加で推移している。

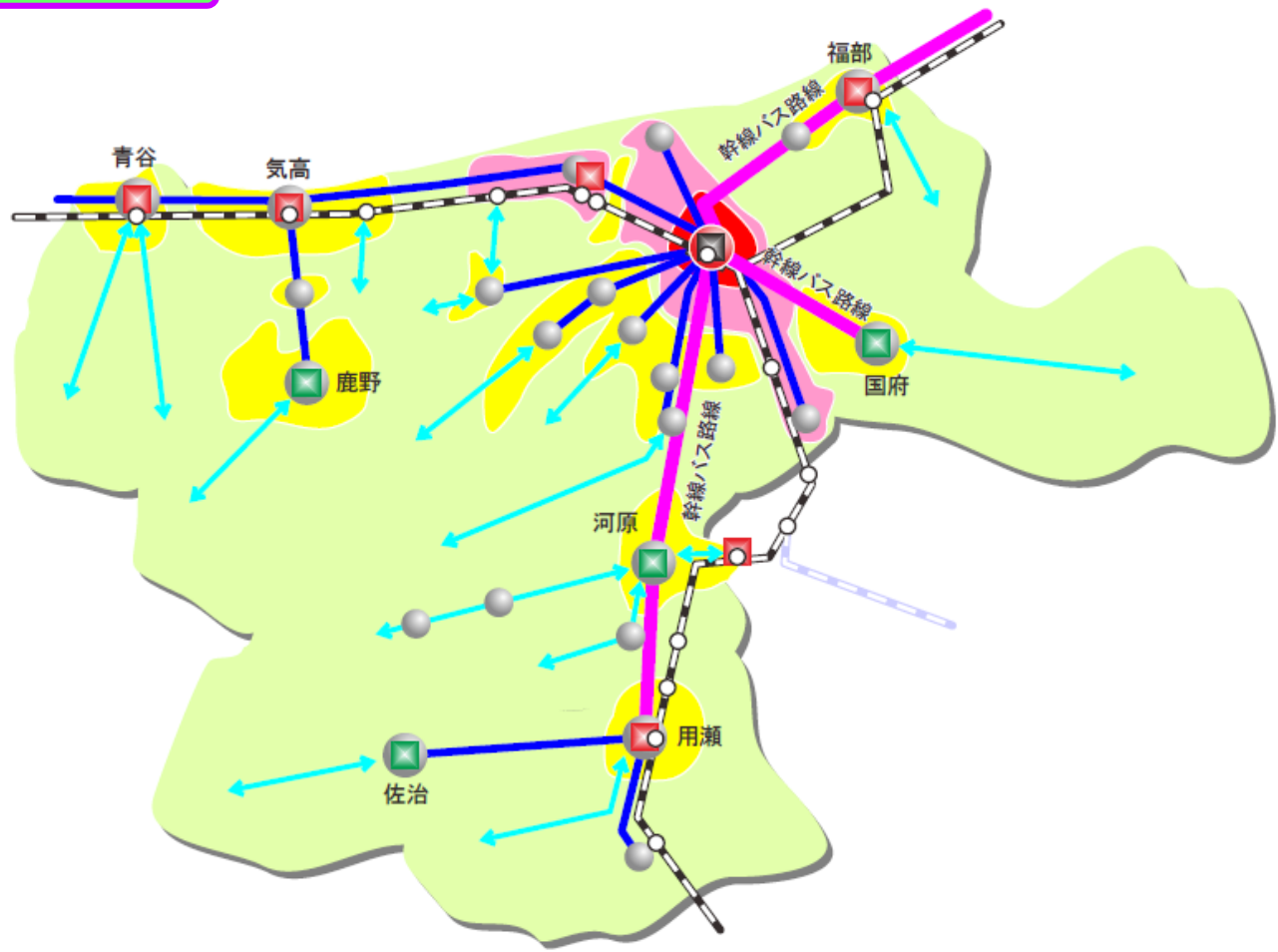
(効果)

フィーダー系路線として、幹線交通へのアクセスを重視したダイヤを設定しており、地域住民の広域移動を可能とする交通手段となっている。

事業の今後の改善点

- ・今後も必要に応じて、PDCAサイクルに基づく、住民要望を踏まえたダイヤ改正やルート改善等のサービスの見直しを行い、利用者の利便性の向上を図る。
- ・地域に対しては、行事等における公共交通の利用を呼びかける等、地域と協働で利用促進活動を推進する。

交通体系図 別紙



エリア区分	拠点区分	公共交通	結節点
● 中心市街地	● 地域拠点 (都市核)	○ 鉄道 (駅)	■ 中心部結節点
● 周辺市街地	● 地域拠点	■ 幹線バス路線	■ 周辺部結節点
● 低密市街地	● 生活拠点	■ 準幹線バス路線	■ 乗り継ぎ拠点
● 中山間・臨海地域		■ 支線バス路線	

運行系統図 別紙

系統名 米里線・浜村青谷線
 運行形態 4条路線、乗合バス型(不定期)
 運行日・便数 毎日運行、13便
 運賃 160~200円

米里線



浜村青谷線

